

実用化
事例

古紙を利用した紙製花器・容器の製品化

【相手先企業】

合資会社おおた

【内容】

印刷業の対象企業は、平成 13 年以降、OA 古紙などを再利用するパルプモールド製品の開発に取り組み、墓地用花立てを商品化してきましたが、主力たる商品の企画・開発ができない等の課題がありました。

そこで、平成 17、18 年度のデザイン開発支援事業に応募し採択され、環境に配慮したパルプモールド製品の開発に取り組みました。パルプモールドの技術的・材質的特徴や潜在的市場ニーズなどから調査検討し、小動物用球体形状容器（ベッド、巣箱）シリーズ、花入れ、花立て容器シリーズ、動物形状容器シリーズの 3 つのジャンルで製品化を進めました。

開発の結果として、「動物形状多機能容器」（実用新案登録第 3125243 号）、「墓地用花立て」（実用新案登録第 3114018 号）、「犬形状花瓶」（意匠登録第 1261265 号）、県との共同出願「小動物用球体形状容器」（実用新案登録第 3130216 号）、商標「ペットシェル」（登録番号第 5016639 号）、図形商標（登録番号第 5016640 号）、「小鳥、小動物用巣箱」（意匠登録出願 2007-5144）、「愛玩動物用ベッド」（意匠登録出願 2007-5647）など、実用新案 3 件、意匠 3 件、商標登録 2 件の成果を挙げることができました。また、動物形状多機能容器は、2006 東京発明展で奨励賞を受賞しました。写真は、登録された商品もしくは商標の例です。

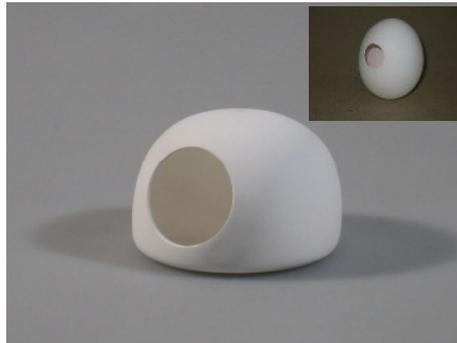


図 1 小動物用球体形状容器

ペットシェル
ぺっとしえる
Petshell
PETSHELL

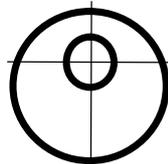


図 3 文字商標と図形商標



図 2 動物形状多機能容器



図 4 花入れ、花立て容器

現在販売されている花立ては、JA 宮城ほか 3 社で発売され、約 1 万本の実績を上げています。また、現在 4、5 社との商談も進行中です。

現在企業では、小動物用球体形状容器の製品化を進めており、当センターとしても支援を続ける考えです。

基礎となった事業

平成 17 年度、平成 18 年度 デザイン開発支援事業

担当部門

産業連携室

Tel : 029-264-2205 (茨城県デザインセンター)